

平成30年6月12日(火)
国土交通省 関東地方整備局
下館河川事務所

記者発表資料



鬼怒川緊急対策プロジェクト+1 (プラスワン) ※ (第2弾)

～施工企業と連携し、建設現場の魅力発信！～

国土交通省下館河川事務所は、鬼怒川緊急対策プロジェクトに従事した施工企業と連携し、建設現場の魅力発信につながる看板を設置していきます。

この取り組みは、鬼怒川緊急対策プロジェクト+1(プラスワン)の第2弾と位置づけ、プロジェクトの広報に加えて、プロジェクトに従事した施工企業の責任感と誇りを形にするとともに、建設業の担い手確保にも寄与することを目指し、賛同する施工企業と連携して取り組んで参ります。

※ 鬼怒川緊急対策プロジェクト+1(プラスワン)とは、プロジェクトの推進の過程で、一歩進んだ取り組みや工夫を講じることで、付加価値をうみだす取り組み。

第1弾として、堤防の整備と併せて設置する管理用通路等を活用してサイクリングロードを整備し、まちと川のにぎわい拠点をつなぎ、地域に元気を届ける取り組みに着手しています。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、
宇都宮市政記者クラブ、筑波研究学園都市記者会

問い合わせ先

	国土交通省	関東地方整備局	下館河川事務所		
副所長(技術)	いし	だ	かず	や	TEL:0296-25-2161
	石	田	和	也	
工務課長	うち	だ	こう	じ	TEL:0296-25-2167
	内	田	剛	二	

鬼怒川緊急対策プロジェクト+1 1 施工企業と連携し、建設現場の魅力発信

下館河川事務所では、「鬼怒川緊急対策プロジェクト+1（プラスワン）」※として、建設現場の魅力発信につながる広報活動に、施工企業と連携して積極的に取り組みます。

※ 鬼怒川緊急対策プロジェクト+1(プラスワン): 鬼怒川緊急対策プロジェクトの推進の過程で、一歩進んだ取り組みや工夫を講じることで、付加価値をうみだす取り組み。



鬼怒川緊急対策プロジェクトの内容を理解いただくことに加え、建設現場の魅力発信につながる看板を設置することによって、プロジェクトに従事した施工企業の責任感と誇りを形にするとともに、建設業の担い手確保にも寄与することをめざします。施工企業と国土交通省が連携して、こうした広報活動に取り組みます。

【施工企業と国土交通省の連携】

施工企業と国土交通省が連携して、看板を設置します。

- 看板は、この取り組みに賛同いただいた施工企業が製作・設置
- 設置後は国土交通省下館河川事務所が維持・管理

【プロジェクトの広報に加え、施工企業の責任感と誇りを形に】

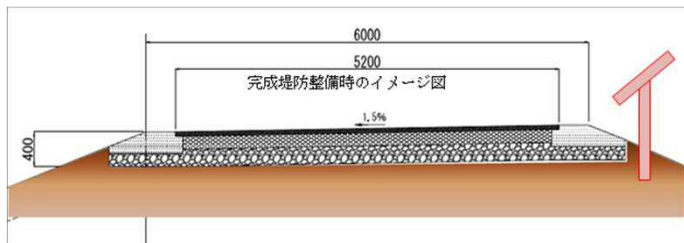
シリーズとしての読みやすさに配慮し、設置位置、看板のデザインや表示内容はできるだけ統一し、以下の内容で建設現場の魅力を発信します。

＝主な表示内容＝

- 工事概要
- 施工の過程がわかる写真
- 工事に従事した“技術屋”が工夫した点
- 担当技術者の顔写真
- 現場に従事した方や協力会社などの名前

看板の設置イメージと記載内容の例

設置イメージ



【設置の基本イメージ】

看板の設置場所は、例えば堤防天端の堤内地（民地）側など、河川管理や河川の利用に支障のない場所に設置。



設置例

看板の記載内容(例)

看板のサイズは、
H450mm × W450mmで統一

現場に**従事した方**や**協力会社**、
現場の**集合写真**などを記載

工事名と施工場所、
施工(受注)企業

HOO ○○地先○○○○工事 
茨城県○○市○○○○地先 鬼怒川岸○○. Ok付近 ○○建設株式会社

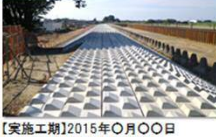
工事の施工前と施工後の定点写真

施工前  **現場従事者**  **協力会社** 

【禁手日】2015年○月○日

【注】現場のこだわり
と関係で低価格を売ったため、堤防上に
大規模な工事可能な約100mの工事用道路を無
償し、10名の保安員を配置することで同様な車
両被害を回避した。また、700名にも及ぶ
材料運搬の労務を確保した。また、「現場は
「あらゆる目」から見られている」ことを認識し
て、姿を隠すような「目に見えない工事
」を心掛けた。施工の効率化や資材配置の工
夫による工期短縮を実現し、一方一歩でも早い進
捗に貢献した。

工事の実施に当たり工夫した
ポイントを**「技術屋のこだわり」**
として紹介

完成  **施工フロー**

【施工工期】2015年○月○日
【完成日】2015年○月○日

仮設工・構造物撤去工 **築堤・護岸本復旧工** **構造物撤去工**

- 工事用道路造成
- 資材搬入
- 基礎処理・根固めブロック設置
- 橋土工・流水シート設置
- 連防ブロック設置
- 鋼矢板設置
- タイロッド設置
- 中継工

写真や図表を用いて
工事内容や施工の過程を紹介

施工手順

■工事諸元
施工延長 L=101m
●完成切工
盛土8,800m³(仮設道路含む)、根固めブ
ロック283個、連防ブロック2,092m²
●二重切工
鋼矢板304枚(25H、L=10m)、タイロッド75組
(φ75、L=6m)、中詰め材3,000m³
●仮設工一式

■担当技術者 **こだわりの技術者**

- 建設 株式会社 監理技術者
- 建設 株式会社 現場代理人

工事諸元

現場の担当技術者を**「こだわりの
技術屋」**として**顔写真**で紹介

鬼怒川緊急対策プロジェクト **「水防災意識社会」の再構築を達成、そして全国へ**

鬼怒川緊急対策プロジェクトの工事であることを知らせる帯